

---

---

# 淀川水系 西大阪ブロック及び 淀川水系 神崎川下流ブロック の環境面・景観面について

---

---

- 1.流域の概要
- 2.流域の将来像
- 3.河川の特性
- 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施
  - ・水質・利水
  - ・底質
  - ・自然環境
  - ・空間利用
- 5.維持管理

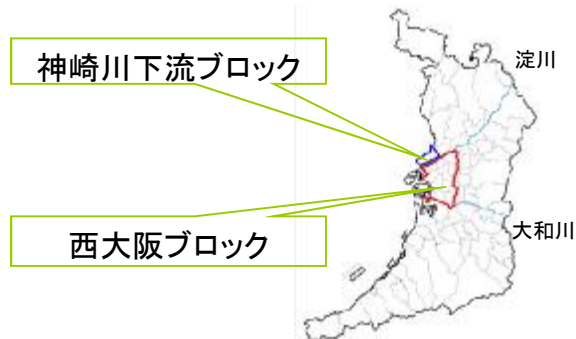
## 2.西大阪ブロック河川の概要

### ○ブロックの概要

- Ⅰ 西大阪ブロックは、旧淀川（大川、堂島川、安治川）、土佐堀川、木津川、尻無川、東横堀川、道頓堀川、住吉川および正蓮寺川、六軒家川の9河川からなる。
- Ⅰ 総流域面積298.8km<sup>2</sup>（寝屋川流域含む）、指定区間延長43.2kmである。
- Ⅰ 対象河川は全て感潮河川で勾配もほとんどなく（縦断勾配1/12,500～水平）、流れは緩やかである。
- Ⅰ 神崎川下流ブロックは、神崎川(猪名川と合流する地点から左門殿川、中島川、西島川を分派して大阪湾に注ぐ約7.1 km 区間)、左門殿川、中島川、西島川の4河川からなる。
- Ⅰ 総流域面積622.2km<sup>2</sup>（猪名川流域等上流域含む）、指定区間延長13.98kmである。

河川延長・流域面積

	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	指定区間延長 (km)	備考
西大阪ブロック	旧淀川 (大川・堂島川・安治川)	288.0	13.830	流域面積に 寝屋川流域 含む
	土佐堀川		2.450	
	木津川		8.800	
	尻無川		4.100	
	東横堀川		2.175	
	道頓堀川		2.745	
	住吉川		3.050	
	正蓮寺川	10.8	4.600	
	六軒家川	1.450		
神崎川下流ブロック	神崎川	622.2	7.100	流域面積に 上流域含む
	中島川		2.820	
	左門殿川		2.570	
	西島川		1.490	



### <大阪府、大阪市の将来像>

#### ●将来ビジョン・大阪

- Ø 河川環境の改善等による水とみどりのネットワーク、みどりの拠点の創造

#### ●ランドデザイン・大阪

- Ø 都心から周辺山系へとつながるみどりの都市軸の形成
- Ø 実感できるみどりの創出、親水空間の創造

#### ●新・大阪市緑の基本計画

- Ø だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”の構築
- Ø みどりを市内及び周辺へつなげていく“みどりのネットワーク”の構築

#### ●新環境総合計画「大阪21世紀の新環境総合計画」

- Ø 生物多様性についての府民理解および生物の生息環境の保全・回復への行動の促進
- Ø 流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

## 2.流域の将来像

### ●大阪都市魅力創造戦略

- 都心部に水の回廊を有する「水都大阪」の特徴を活かした大阪都市魅力創造戦略に基づきまちづくりを推進
- 水都大阪ならではの魅力的な光の景観の創出

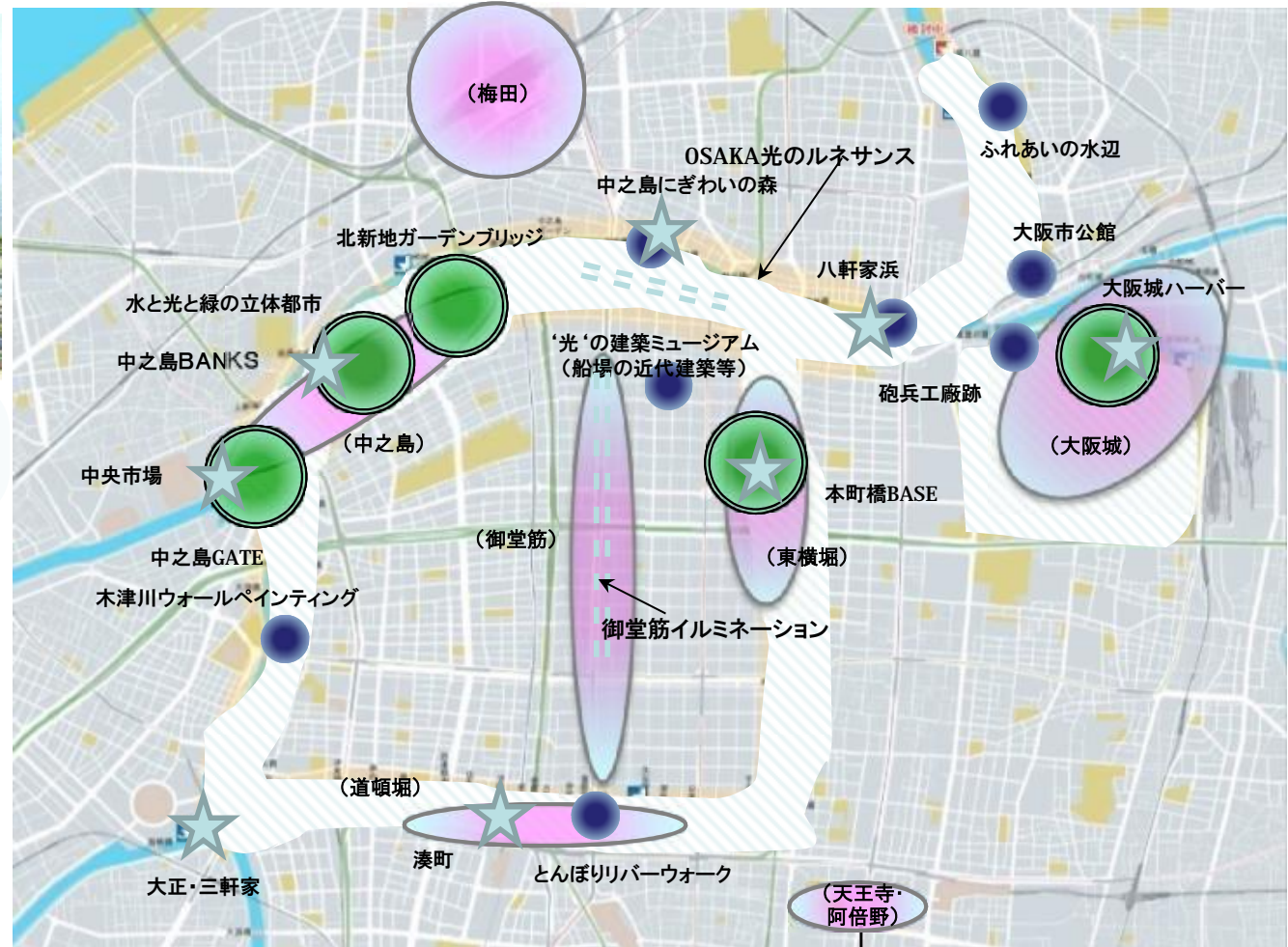
＜新たなシンボル空間の創造＞

### 大阪府市都市魅力戦略会議(H24.6)



水と光と緑の立体都市  
(中之島文化芸術島構想)  
世界に誇る水辺都市の風景

	水と光のまちづくり特区エリア
	シンボル空間創出エリア
	BIDエリア (エリア箇所)
	水辺の魅力拠点
	水陸の結節点
	OSAKA光のルネサンス 御堂筋イルミネーション



## 2.流域の将来像

### ○河川敷地利用について

#### Ⅰ 河川敷地占用許可準則

＜改正前＞

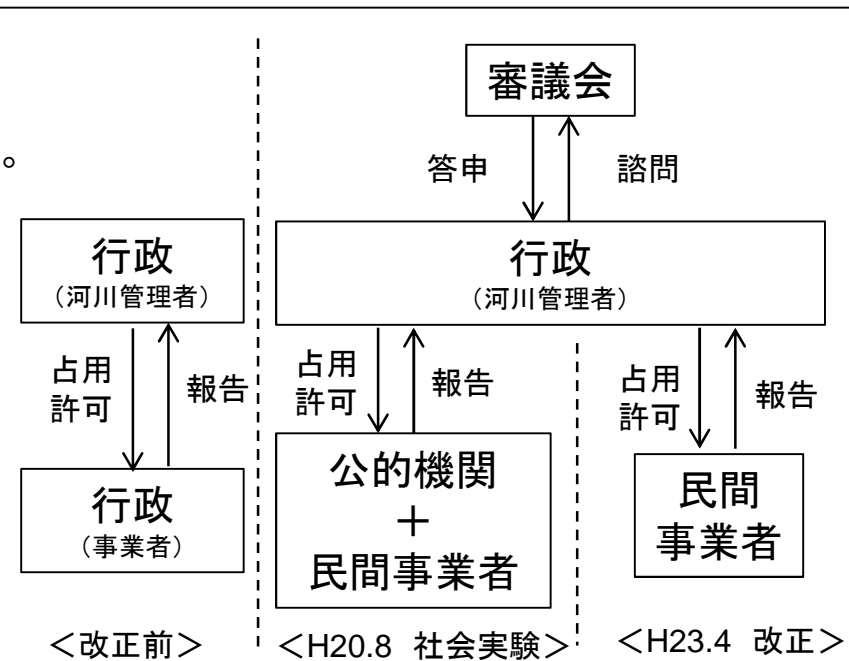
行政が事業計画を策定し、行政が占用者となり整備。  
例) 南天満公園等

＜H20.8 社会実験＞

公的機関が民間事業者と契約。公的機関が占用者となり事業者が整備。  
例) 中之島バンクス等

＜H23.4 改正＞

民間事業者が事業計画を立案、占用者となり整備。  
例) 裁判所前



### 3. 河川の特徴（西大阪ブロック）

#### ○大川

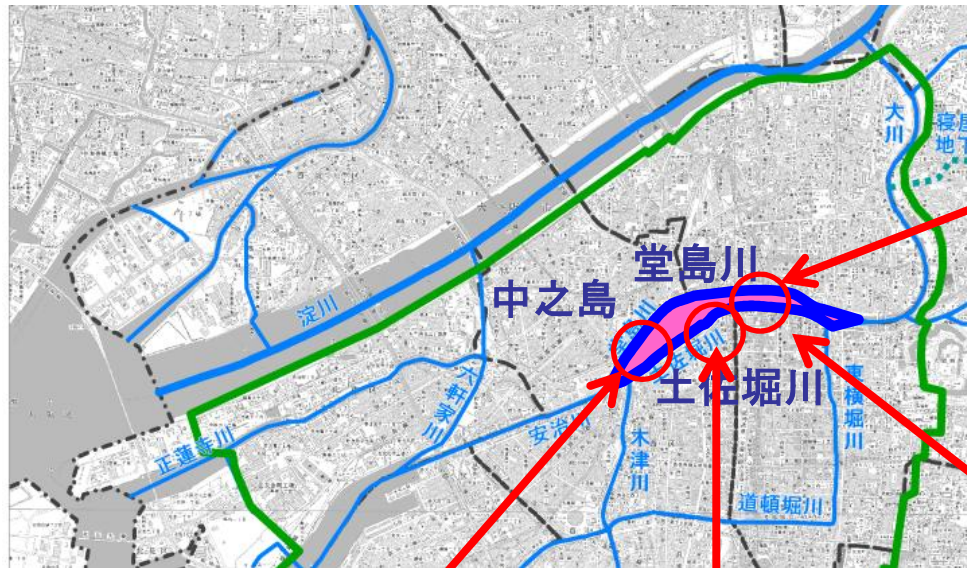
- Ⅰ 大阪アメニティーパークの建設に伴い、船着場と緩傾斜護岸、遊歩道等を一体的に整備した水辺の親水拠点がある。
- Ⅰ 八軒家浜に船着場が整備され「川の駅」として利用されている。
- Ⅰ 毛馬桜之宮公園貯木場跡に、水辺に親しみ、くつろげる空間「大阪ふれあいの水辺」が整備された。



### 3. 河川の特性（西大阪ブロック）

#### ○堂島川・土佐堀川

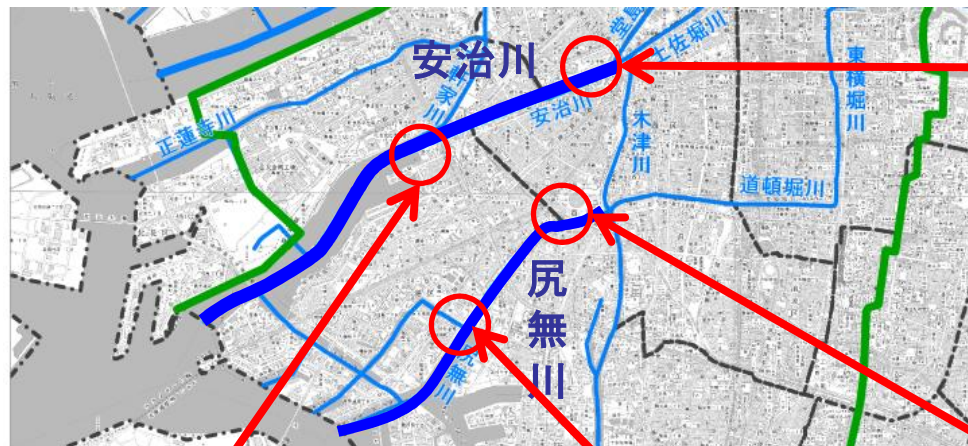
- Ⅰ 両河川に挟まれる中之島には、中之島公園や大阪中央図書館、中央公会堂などの歴史的な建造物、文化施設があり、水辺の景観形成に寄与している。
- Ⅰ 規制緩和により、北浜テラス、中之島バンクス、中之島にぎわいの森など水辺の賑わい空間の整備が行われた。



### 3. 河川の特徴（西大阪ブロック）

#### ○安治川・尻無川

- Ⅰ 沿川土地利用は、上流は住宅・工業・商業地が混合、下流は主に工業地となっている。
- Ⅰ ユニバーサル・スタジオ・ジャパンや中央卸売市場などの観光資源として活用できる大規模施設がある。
- Ⅰ 中央卸売市場前に船着場や遊歩道の整備が行われた。
- Ⅰ 水辺は高い防潮堤によって遮られ、建物も川に背を向けて建っている。
- Ⅰ 下流には高潮対策事業により防潮水門が整備されている。



中央卸売市場前



安治川水門



尻無川水門



大正橋下流  
スーパー堤防(右岸)





### 3. 河川の特性（西大阪ブロック）

#### ○木津川・住吉川

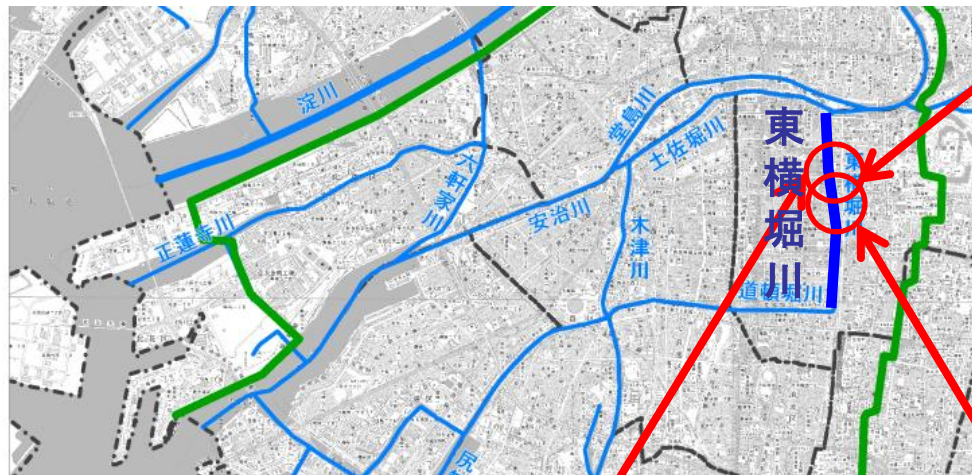
- Ⅰ 沿川土地利用は、流域が主に住宅地で、下流域は主に工業地である。
- Ⅰ 木津川では、大阪ドームの開発に伴ったスーパー堤防を尻無川と一体で整備している。
- Ⅰ 木津川遊歩空間として船着場（大阪ドーム前千代崎港）と遊歩道が整備された。
- Ⅰ 平成21年度より、新たな都市魅力創造を目的とし、木津川の防潮堤にアート作品を描いたウォールペインティングが実施されている。
- Ⅰ 住吉川の水門上流には、府営の住之江公園が隣接し、河岸には遊歩道を整備していることから、憩いの空間として水辺や公園を利用している人の姿が見られる。



### 3. 河川の特性（西大阪ブロック）

#### ○東横堀川

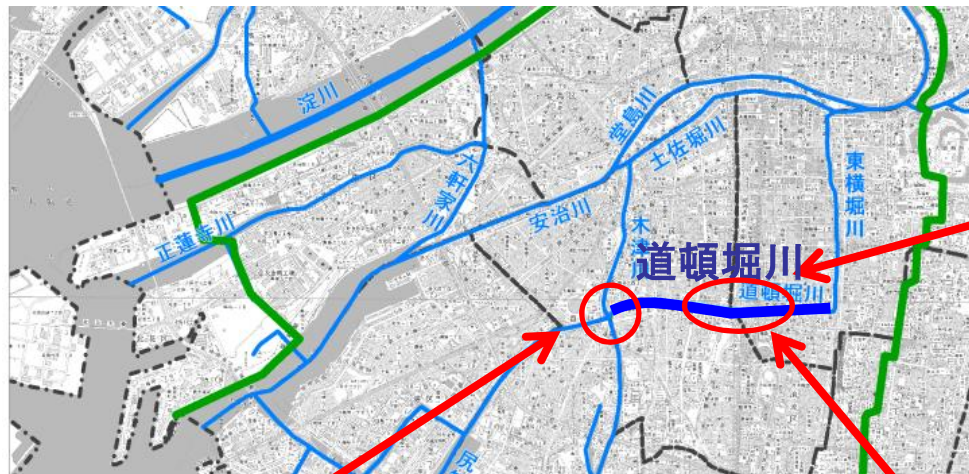
- Ⅰ 全川にわたり上空を阪神高速道路の高架橋が占用しており、閉鎖的な空間となっている。
- Ⅰ 船場都心居住促進地区に隣接しており、沿川地区では都心型マンション開発が進んでいる。
- Ⅰ 沿川にマイドームおおさか、大阪商工会議所などのビジネス拠点も集積している。
- Ⅰ 今橋から本町橋までの区間は、都市公園が整備され市民の憩いの場となっている。
- Ⅰ 平成12年に建設された東横堀川水門は、水位制御や河川浄化などの役割を果たしている。



### 3. 河川の特性（西大阪ブロック）

#### ○道頓堀川

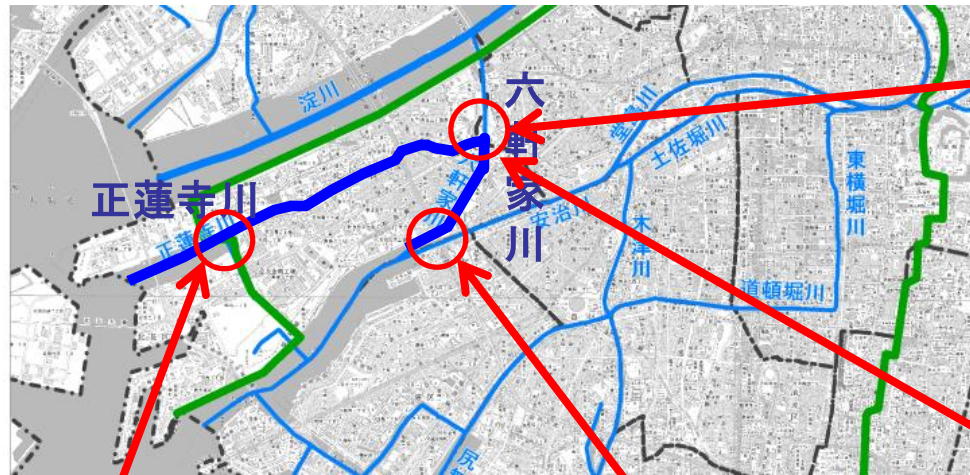
- Ⅰ 難波、心斎橋など大阪屈指の商業エリアを流れている。
- Ⅰ 水辺の魅力拠点として「湊町リバープレイス」や「とんぼりリバーウォーク」等が整備されている。
- Ⅰ 平成12年に建設された道頓堀川水門は、水位制御や河川浄化などの役割を果たしている。
- Ⅰ 平成24年度より民間事業者による遊歩道の管理・運営を実施している。



### 3. 河川の特性（西大阪ブロック）

#### ○正蓮寺川・六軒家川

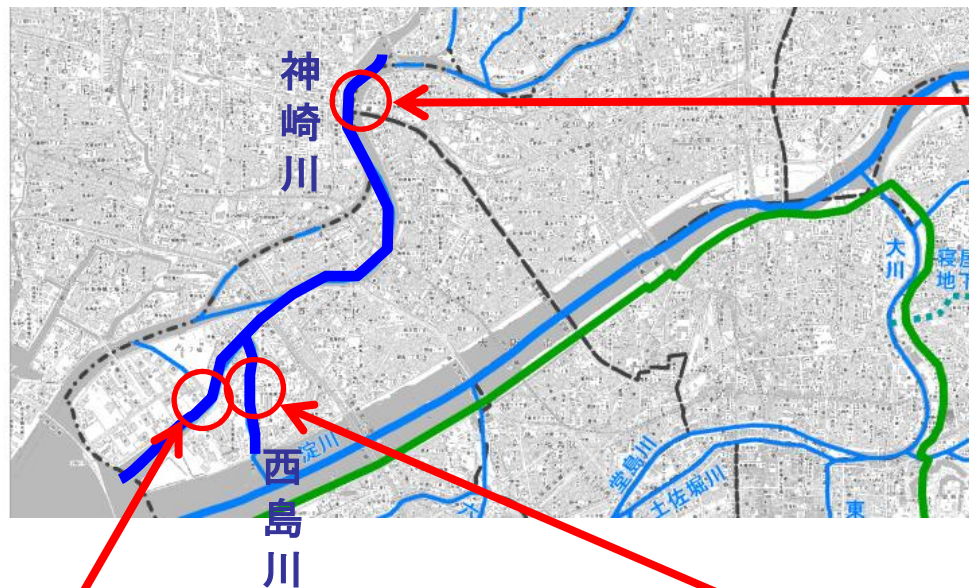
- Ⅰ 沿川は宅地や商工業地が密集し、堤内地は地盤沈下に伴い堤防に比べて低くなっている。
- Ⅰ 正蓮寺川総合整備事業として、阪神高速道路淀川左岸線設置に伴い、暗渠化が進められておりかつての河川は狭められた水面が見える状態である。
- Ⅰ 正蓮寺川水門、六軒家川水門が整備されている。



### 3. 河川の特性（神崎川下流ブロック）

#### ○神崎川・西島川

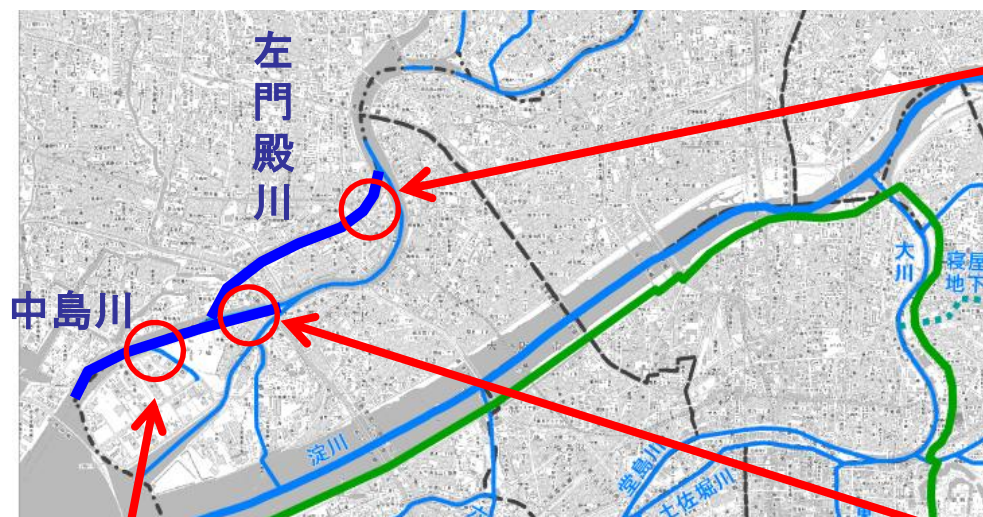
- Ⅰ 神崎川は、猪名川合流後、国道2号上流で左門殿川を分流、国道43号上流で中島川を分流、国道43号下流で西島川を分流した後、大阪湾に流下している。
- Ⅰ 西島川は、神崎川から分派した後、南下して淀川に合流している。また、神崎川分派点において、洪水や高潮が神崎川から流入させないよう出来島水門が設置されている。



### 3. 河川の特性（神崎川下流ブロック）

#### ○左門殿川・中島川

- 1 左門殿川は、国道2号上流で神崎川から分流、国道43号下流で中島川と合流し、大阪湾に流下している。



左門橋から上流



中島新橋から上流

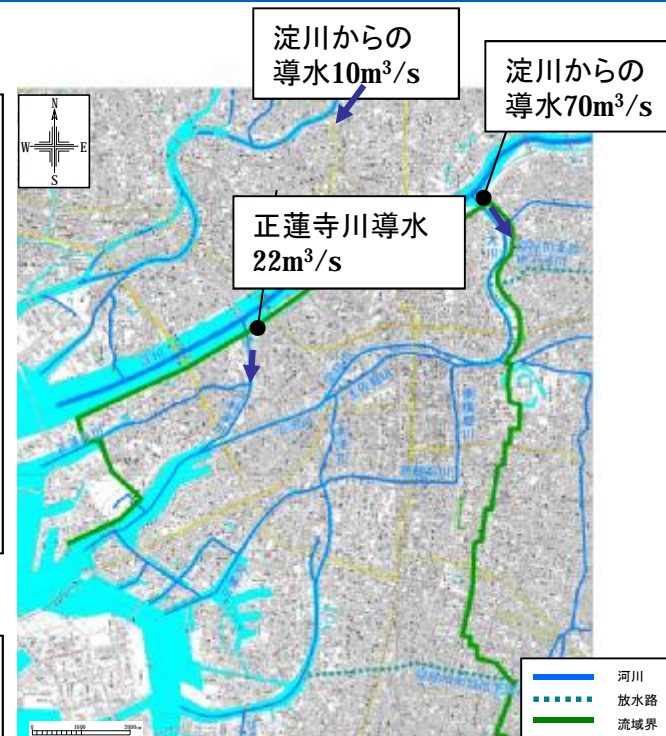


出来島大橋から下流

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

### ○水量

- Ⅰ 旧淀川では、干満に応じた毛馬水門の流量調節ゲートの操作により、平水時には淀川から維持流量70m<sup>3</sup>/sの導水が行われている。
- Ⅰ 正蓮寺川では、正蓮寺川利水事業によって整備された淀川からの導水施設により、正蓮寺川・六軒家川に最大22m<sup>3</sup>/s（正蓮寺川7m<sup>3</sup>/s、六軒家川15m<sup>3</sup>/s）の維持用水を導水している。
- Ⅰ 神崎川では、平常時に河川浄化のため、摂津市一津屋取水口から、10m<sup>3</sup>/sの淀川の水が供給されている。



### ○利水

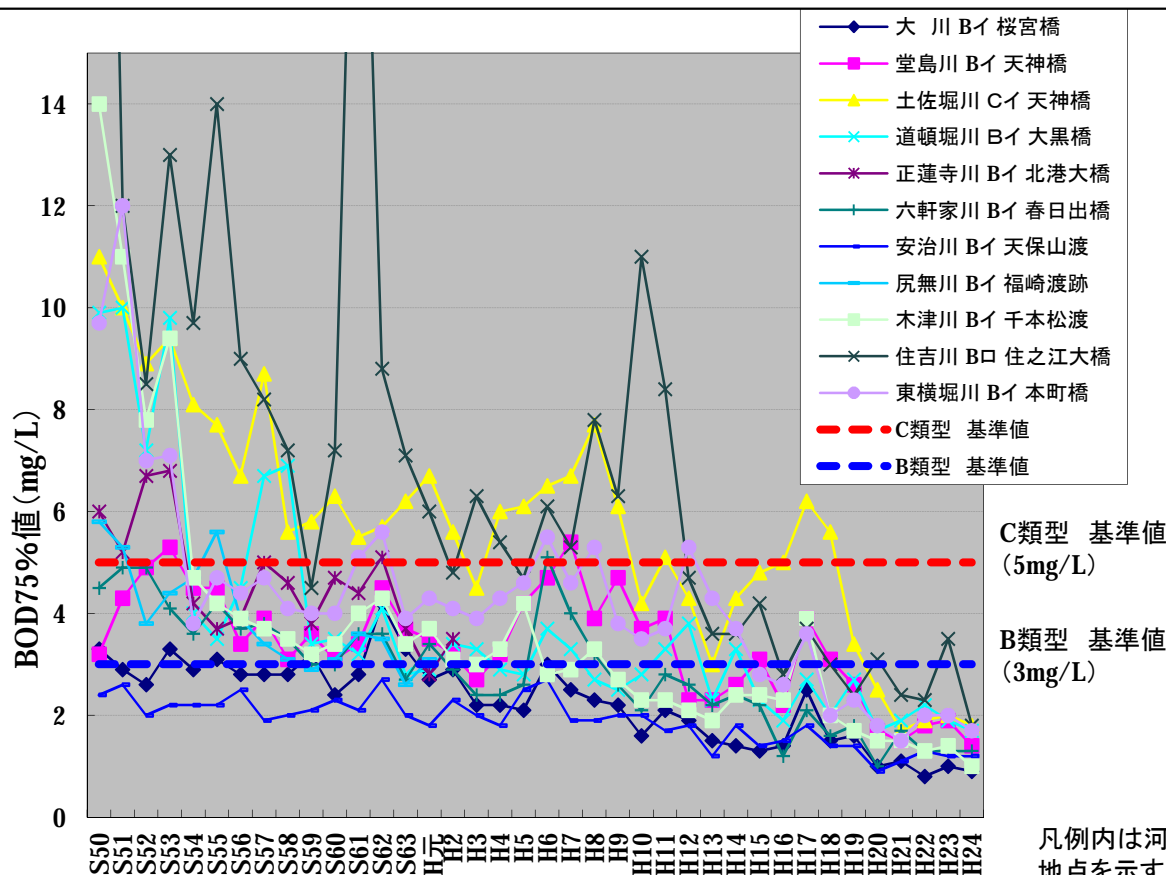
- Ⅰ 西大阪ブロック、神崎川下流ブロックの河川水は、工業用水及び雑用水などの都市用水として利用されている。
- Ⅰ 神崎川には国許可の上水道、工業用水の水利権がある。

水利用の目的	西大阪ブロック		神崎川ブロック	
	水利使用者合計(件)	許可取水量合計m <sup>3</sup> /s	水利使用者合計(件)	許可取水量合計m <sup>3</sup> /s
工業用水	12	28.8287	3	3.130
雑用水	6	0.22433	—	—
発電用水	1	1.25	—	—
観光用水	1	0.02053	—	—
水質測定用水	4	0.01	—	—
上水道	—	—	1	0.136

# 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

## ○水質（西大阪ブロック）

- Ⅰ 下水道整備や工場等の排水規制や発生源監視の強化など排出される汚濁負荷量の削減を図ってきたことで、河川の水質は大きく改善されている。
- Ⅰ 土佐堀川が環境基準のC類型（BOD75%値5mg/L以下）に、他はB類型（BOD75%値3mg/L以下）に指定されている。
- Ⅰ 平成24年度の水質調査結果（BOD）では、全地点で環境基準を達成している。



凡例内は河川名:環境基準類型指定:調査地点を示す類型指定に付随

BOD(Biochemical Oxygen Demand 生物化学的酸素要求量)

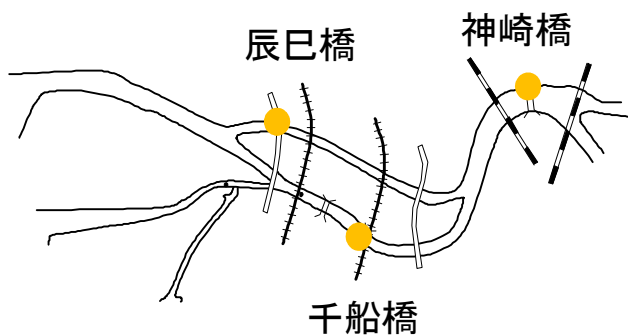
河川等の水の有機汚濁の度合いを示す指標で、水中の有機物質が好気性微生物によって分解される時に必要とされる酸素量から求める。75%値とは、年間観測データの値を小さいほうから並べて上位から75%パーセント目の数値であり環境基準への適合性の判断に用いられる。



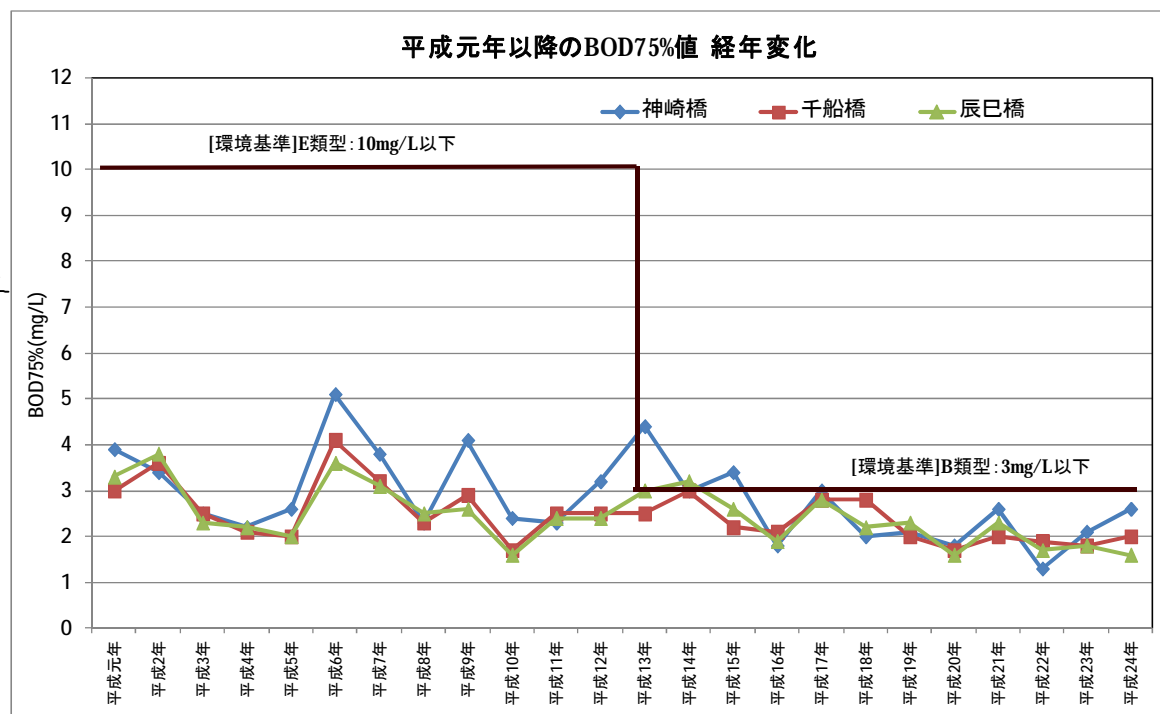
## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

### ○水質（神崎川下流ブロック）

- Ⅰ 神崎川は、水質環境基準が指定され、平成13年に昭和45年の「E類型」から「B類型」（BOD75%値3mg/L以下）に見直されている。
- Ⅰ 神崎川「神崎橋」と「千船橋」、左門殿川「辰巳橋」の3地点で観測され、平成年代は概ね3mg/L程度で推移し、平成8年以降は神崎橋の3ヶ年を除き、環境基準を達成している。
- Ⅰ 水質の改善は、大野下水処理場をはじめとする流域全体の下水道整備による効果が大いいと推測される。



調査地点位置図(3地点)

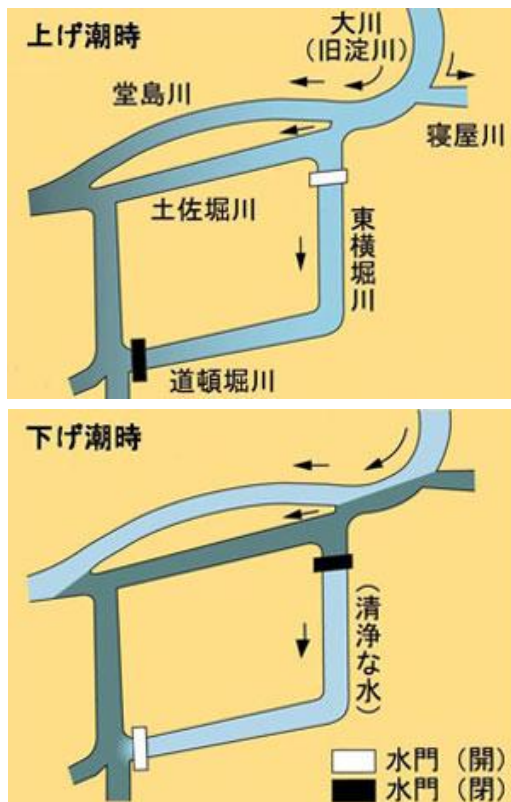


経年変化図(3地点のBOD75%値と環境基準値 平成元年から平成24年)

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

### ○水質浄化対策（西大阪ブロック）

- Ⅰ 東横堀川・道頓堀川では、干満に応じて両河川の水門を制御することにより、水質の良好な大川の流水を導水する浄化運転を行っている。
- Ⅰ 寝屋川流域では、平成33年度までに下流域の目標水質をBOD75%値5mg/L以下（環境基準値C類型相当）とする水質改善目標を立て、河川や下水道事業、住民などで取り組む対策をとりまとめた「寝屋川流域水環境改善計画H24.5」を策定し、流域での一体的な取り組みを進めている。
- Ⅰ 大阪市内でも高度処理の推進や合流式下水道の改善を図っている。



### 道頓堀川・東横堀川の浄化運転

- Ⅰ 上げ潮時  
東横堀川の水門を開け、きれいな大川の水(浄化用水)を東横堀川・道頓堀川に取り入れます。  
その結果、道頓堀川・東横堀川には、きれいな水が一時貯留されます。
- Ⅰ 下げ潮時  
道頓堀川水門を開け、東横堀川・道頓堀川の水を下流へ流し、水の入替えを行っています。  
また、東横堀川水門を閉じ、寝屋川からの汚れた水が東横堀川・道頓堀川に入らないようにします。

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

### ○下水道普及率

Ⅰ 下水道の普及率は処理人口ベースでほぼ100%（99.9%）に達しているが、そのほとんどが合流式下水道となっている。



ブロック	下水処理場名称	計画区域内人口(人)	整備人口(人)	普及率(%)	水洗化人口(人)
西大阪	今福	322,261	322,261	100.0	322,261
	中浜	300,206	300,206	100.0	300,206
	住之江	346,581	346,581	100.0	346,579
	市岡	111,858	111,858	100.0	111,858
	此花	60,115	60,111	99.9	60,106
	海老江	185,428	185,428	100.0	185,428
	津守	297,255	297,255	100.0	297,248
神崎川下流	大野	224,382	224,378	99.9	224,347

出典:平成24年度末 大阪府下水道統計

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（水質・利水）

### 課題

- 大阪市の下水道はそのほとんどが合流式となっており、雨の強さが一定水準を越えると下水の一部が河川へ直接放流され、汚濁原因になっている。
- 環境基準は達成しているが、現状の水質改善は、淀川等からの導水による希釈効果が大きく、上流域を含む流域全体からの流入負荷量の低減が課題である。

### 目標

- 流域関係市と連携して未処理生活雑排水などの対策を進めるとともに、支川や水路も含めた流域全体の水質の向上を目指す。
- 下水道事業との連携により水質改善を目指す。

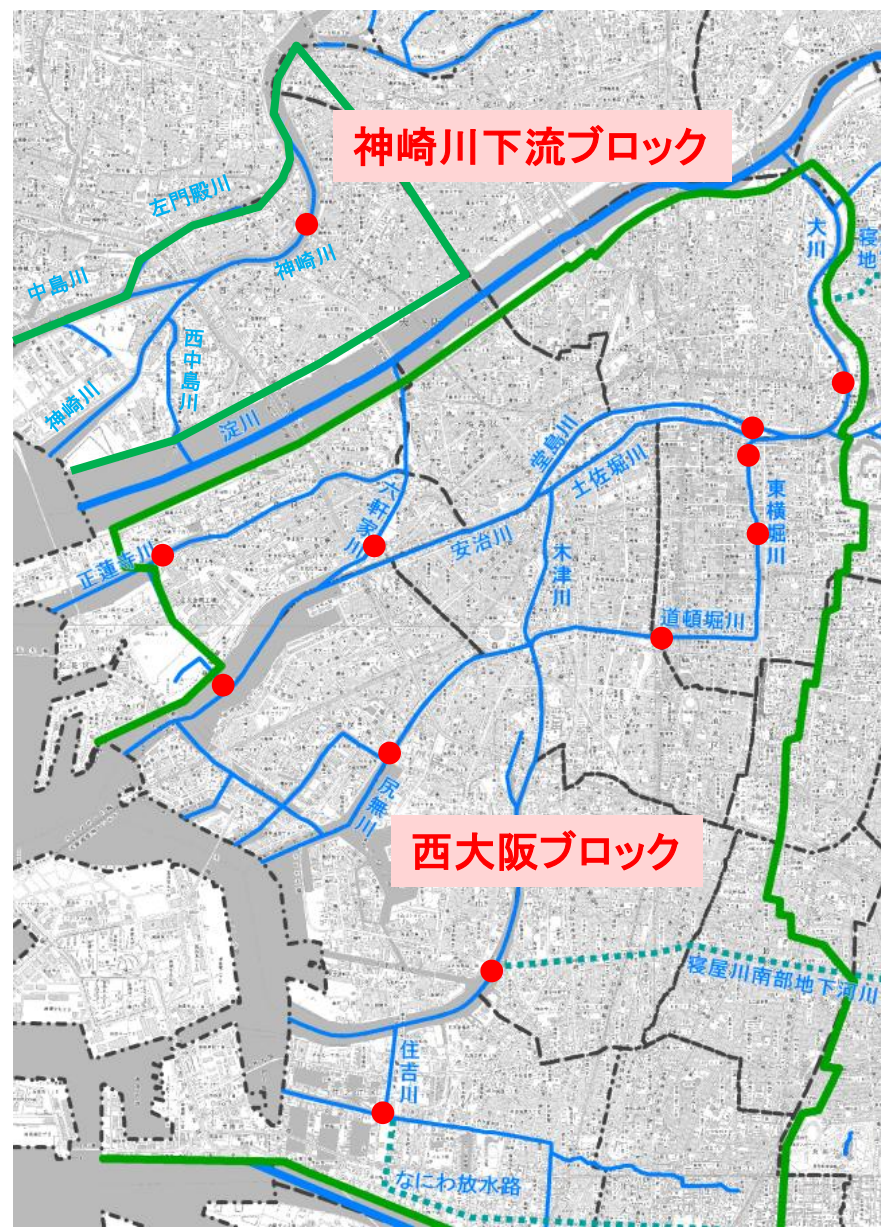
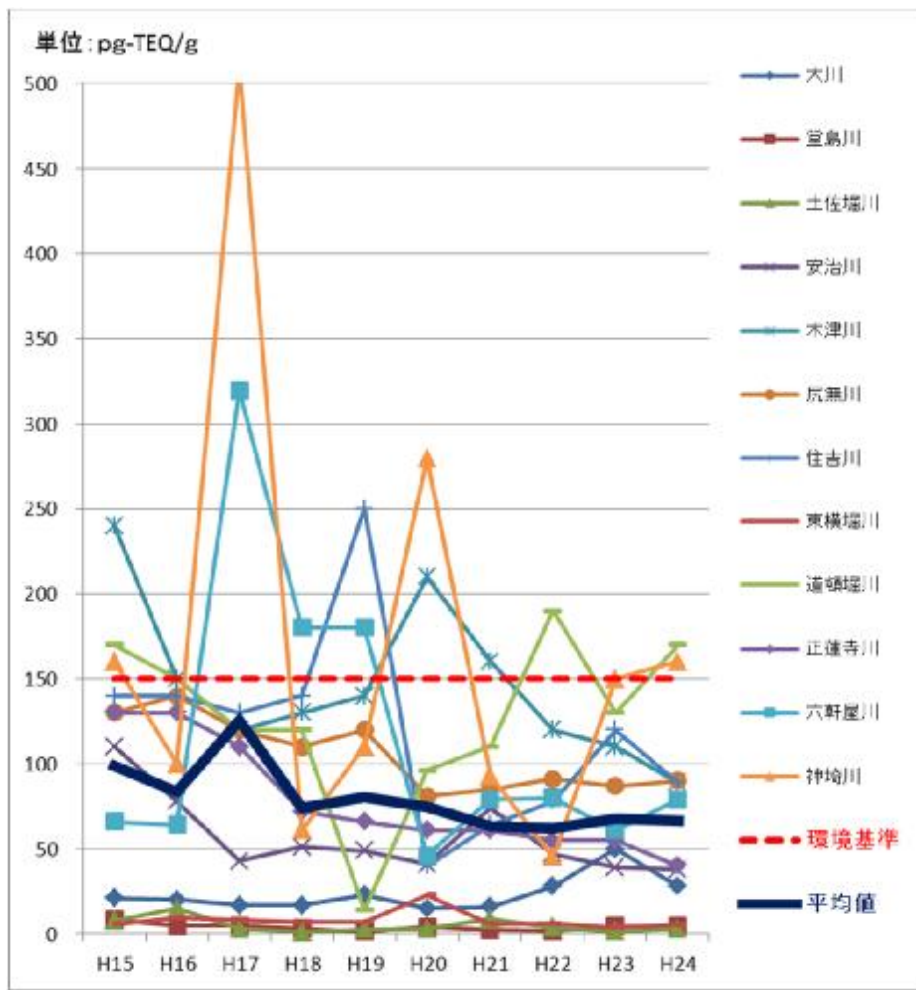
### 実施

- 支川・水路を含めた流域全体の水質改善を図っていくため、関係機関と連携し、未処理生活雑排水の対策や河川へのごみの投棄防止など、汚濁負荷の低減及び発生源の対策を推進していく。
- 降雨初期の汚れた雨水を一時貯留し、降雨後に処理し河川等に放流する雨水滞水池を整備する。

# 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（底質）

## ○底質

- Ⅰ 底質については、その指標としてダイオキシン類濃度の調査をおこなっている。
- Ⅰ 平成24年度は、道頓堀川と神崎川において、環境基準値を超過している。



● : 調査地点 21

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（底質）

### 課題

〇 道頓堀川と神崎川の2河川において、環境基準値を超過している。

### 目標

〇 環境基準値を超過する底質の浄化・改善を目指す。

### 実施

〇 「大阪府河川及び港湾の底質浄化審議会」の検討を踏まえ、高濃度の箇所を優先的に順次対策を進める。

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（自然環境）

### ○魚類

- Ⅰ 西大阪ブロックでは、2科10種の純淡水魚、3科4種の回遊魚、8科12種の汽水・海水魚が確認されている（大阪市H23年度調査）。
- Ⅰ 神崎川下流ブロックでは、平成4年、9年の調査で、ボラとスズキが確認されている。
- Ⅰ 矢倉海岸では9科14種が確認されている。（西淀自然文化協会H25年度調査）



ウキゴリ(絶滅危惧Ⅱ類)



コウライモロコ(要注目)

写真出典等  
写真は「大阪市内の川のさかな図鑑」より転載  
ウキゴリは図鑑ではウキゴリ属として掲載されている。

### ○植物

- Ⅰ 西大阪ブロック、神崎川下流ブロックの河川では自然植生群落はほとんど確認されていない。
- Ⅰ 河川周辺の公園では、54科231種の植物が確認されている。（大阪市調査）
- Ⅰ 矢倉海岸では51科139種が確認されている。（西淀自然文化協会H25年度調査）

平成23年度の市内河川魚類生息状況調査結果

生活型	科	魚種	水域															
			大阪市内河川															
			大川	堂島川	土佐堀川	安治川上流	安治川河口	道頓堀川	尻無川上流	尻無川河口	木津川上流	木津川河口						
			9	10	11	12	13	14	15	16	17	18						
淡水魚	コイ科	コイ				3				3								
		フナ属* #								7								
		タイリクバラタナゴ		1														
		ワタカ		6														
		オイカワ		5														
		カワヒガイ		1														
		カマツカ		12														
		コウライモロコ		37						2								
		サンフィッシュ科	ブルーギル		11						1							
			オオクチバス(ブラックバス)		2	2					1							
回遊魚	キュウリウオ科	ワカサギ		1														
	アユ科	アユ		5	2		1	2	1	2				4				
	ハゼ科	ウキゴリ							3									
		ウキゴリ属* #									2							
汽水・海水魚	ニシン科	サツバ										1		5				
		コノシロ							3									
	カタクチイワシ科	カタクチイワシ							6				64	45				
	サヨリ科	サヨリ							1					1				
	スズキ科	スズキ		10	20			33	13		36	1	15	86				
		スズキ属* #			1													
	アジ科	マアジ										1						
	タイ科	イケカツオ属*							1									
		クロダイ												1				
	ボラ科	キチヌ										1						
ボラ			2	4	25	12	1		28	1	2							
マハゼ			14	8	13	3	7	8	13		4	20						
ハゼ科	ヒメハゼ		1	2														
地点別総個体数			107	38	43	49	37	23	79	7	94	153						
地点別出現種数			13	7	4	4	9	7	4	6	6	5						

\* : レビソステウス属、フナ属、ニゴイ属、ウキゴリ属、スズキ属、イケカツオ属は種の確定が困難。レビソステウス属はショートノーズガー、スポットテッドガー、フロリダスポットテッドガーのいずれか、フナ属はゲンゴロウブナ、ギンブナのいずれか、ニゴイ属はニゴイ、コウライニゴイのいずれか、ウキゴリ属はウキゴリ、スミウキゴリのいずれか、スズキ属はスズキ、タイリクスズキのいずれか、イケカツオ属はイケカツオ、ミナミイケカツオのいずれかである。

# : フナ属とゲンゴロウブナが同時に出現した場合、またウキゴリ属とウキゴリが同時に出現した場合、スズキ属とスズキが同時に出現した場合、フナ属、ウキゴリ属、スズキ属は地点別出現種数にカウントしなかった。これは、フナ属はゲンゴロウブナと、またウキゴリ属はウキゴリと、スズキ属はスズキと同じ種である可能性があるため、重複して種数をカウントしないためである。

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（自然環境）

### ○鳥類

- Ⅰ 西大阪ブロックでは、20科37種が確認されており、大川～堂島川・土佐堀川及び安治川河口域で、コアシサシ（大阪府レッドデータブックおよびレッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）が確認されている。（H10年調査）
- Ⅰ 神崎川下流ブロックでは、20科37種が確認されており、コアシサシやカワウ（大阪府レッドデータブック：要注目）の他、アオサギ、マガモ、ムクドリが確認されている。（H13年調査）



コアシサシ（絶滅危惧Ⅱ類）

### ○底生生物

- Ⅰ 西大阪ブロックでは、大川に隣接する毛馬桜ノ宮公園内の大阪ふれあいの水辺で、24科48種類（H24年調査）確認されており、環境省のレッドリストで「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されている種として、クロダカワニナやトンガリササノハガイが確認されている。
- Ⅰ 神崎川下流ブロックの矢倉海岸では、19科30種が確認されており、ハクセンシオマネキ（レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類）の他、ウネナシトマヤガイ（レッドリスト：準絶滅危惧）、ヤマトシジミ（レッドリスト：準絶滅危惧）、が確認されている。（西淀自然文化協会H25年度調査）

### ○両生類、は虫類、昆虫類

- Ⅰ 西大阪ブロックでは、両生類が2科2種、は虫類が1科1種、昆虫類が60科156種確認されている。（H10年調査）
- Ⅰ 神崎川下流ブロックでは、矢倉海岸において、は虫類が3科3種、昆虫類が22科41種が確認されている。（西淀自然文化協会H25年度調査）



## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（自然環境）

### 課題

- 対象河川の大部分が防潮堤などの直立式の護岸形態となっており、今後は河岸の緑化など生態系にも配慮した工夫を行っていくことが必要である。
- 本ブロックにおいては、重要種も確認されており、自然再生の観点からの総合的な整備が必要である。

### 目標

- 現状の自然環境の維持、回復を図る。

### 実施

- 現状の自然環境の維持、保全に努める。
- 特に周辺地域の景観に配慮する必要がある地域において、草花、地被類等の植栽などにより護岸や堤防の緑化に努める。
- 大阪ふれあいの水辺において、動植物の生息環境の創出を行う。

# 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）



## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### ○高水敷利用（神崎川下流ブロック）

- Ⅰ 防潮堤により、高水敷へ容易にアクセスできないが、「なにわ自転車道の一部」や「佃防災船着場」では、水辺へ近づく施設が整備されている。
- Ⅰ 矢倉緑地からの眺める夕景は、西淀川区の新しいシンボルとなっている。



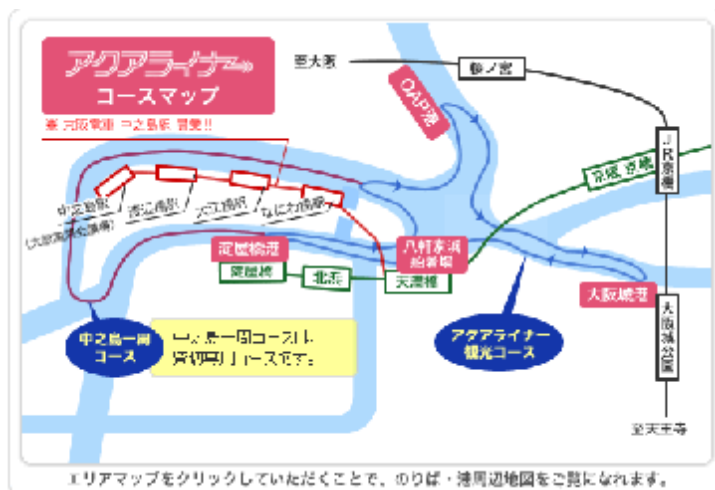
## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### ○舟運（観光船）

- Ⅰ 西大阪ブロックの河川には、中之島を中心に水都大阪を特徴づける遊覧船が運航している。
- Ⅰ 大阪府及び大阪市が管理する公共船着場は合計10箇所

### 観光船の例

#### アクアライナー



その他：アクアミニ、水陸両用バス、屋形船など

### 公共船着場



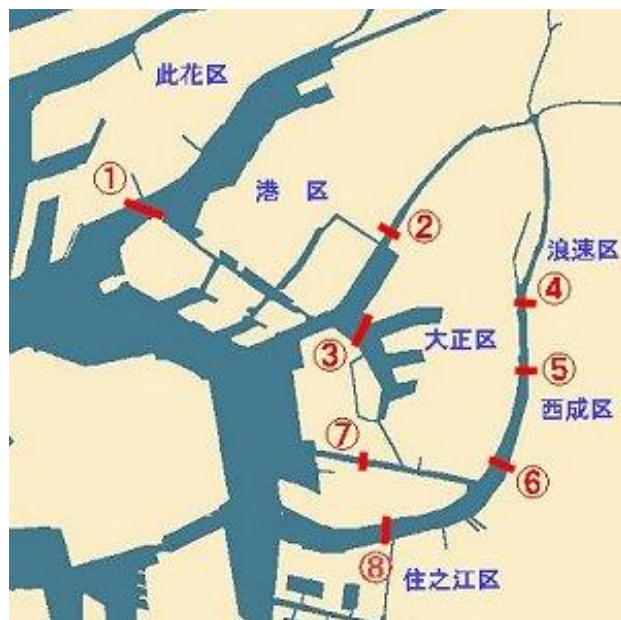
利用者数 約24万人（平成24年度）

大阪ドーム前岩崎港、大阪ドーム前千代崎港、大阪国際会議場前港、湊町船着場、太左衛門橋船着場、八軒家浜船着場、福島港(ほたるまち港)、日本橋船着場、大阪市中央卸売市場前港、ローズポート

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### ○舟運（渡船、港湾機能）

- Ⅰ 安治川、木津川、尻無川では、古くから住民の貴重な交通手段として利用されていた渡船が、下流域の8カ所で運営されている。
- Ⅰ 大阪湾に近い河川では、河岸に荷役施設が多く設置され、航路として利用されている。



- 1.天保山渡船場
- 2.甚兵衛渡船場
- 3.千歳渡船場
- 4.落合上渡船場
- 5.落合下渡船場
- 6.千本松渡船場
- 7.船町渡船場
- 8.木津川渡船場

大阪市HPより

<http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000011244.html>



大阪市の渡船



神崎川の航路利用の様子

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### ○地域の活動

Ⅰ 西大阪ブロックでは9件、神崎川下流ブロックでは2件のアドプトリバープログラムに登録されている活動が行われている。

ブロック	名称	河川名	実施場所	団体名	協定締結日
西大阪	アドプト・リバー・尻無川河川広場	一級河川 尻無川	大阪市	三軒家西社会福祉協議会	H14, 7,19
	アドプト・リバー・安治川緑道	一級河川 安治川	大阪市	大阪府河川ボランティア (支援ネットワーク21)	H16, 5,14
	アドプト・リバー・フレタスガーデニング正蓮寺川	一級河川 正蓮寺川	大阪市	此花区緑化リーダー連絡協議会	H16, 6,21
	アドプト・リバー・千代崎	一級河川 木津川	大阪市	千代崎連合振興会	H17,10, 5
	アドプト・リバー・銚流	一級河川 堂島川	大阪市	宗教法人 大阪天満宮	H17,10,10
	アドプト・リバー・LF会	一級河川 安治川	大阪市	トヨタエルアンドエフ大阪株式会社	H19, 3,27
	アドプト・リバー・安治川	一級河川 安治川	大阪市	安治川を愛する会	H21,3,3
	アドプト・リバー・八軒家浜	一級河川 大川	大阪市	チームはちけんや	H22,2,16
	アドプト・リバー・天神浜	一級河川 堂島川	大阪市	天神浜美化推進協議会	H24,11, 30
神崎川 下流	アドプト・リバー・佃2丁目堤防に緑を	一級河川 神崎川	大阪市	緑豊かな遊歩道をつくる会	H14,10,1
	神崎川アドプト・リバー・川北	一級河川 神崎川	大阪市	川北連合振興町会	H19,3,19



アドプト・リバー・  
フレタスガーデニング正蓮寺川



アドプト・リバー・千代崎



神崎川アドプト・リバー・川北

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### 課 題

#### ○西大阪ブロック

- Ø 大部分が直立式の護岸形態であり、高いパラペットで遮られた箇所が多い。
- Ø まちづくりの観点から、水辺空間の利用が求められている。
- Ø 航路網や船着場等の水上基盤、遊歩道などの水辺のネットワーク動線が不足しており、周遊性に乏しい。

#### ○神崎川下流ブロック

- Ø 大部分が直立式の護岸形態であり、高いパラペットで遮られた箇所が多い。

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### 目 標

#### ○西大阪ブロック

- 民間事業者や住民等が主体となって、川とまちが一体となった魅力ある水辺空間を創出することを基本とする。
- 利活用ニーズを踏まえ、水上交通の活性化や遊歩道の整備等による水辺のネットワーク強化を図る。
- 正蓮寺川では、地域の生活・環境の骨格・根幹となり、地域の人々の交流がうまれるような空間の創出を目指す。

#### ○神崎川下流ブロック

- 地域や市民団体、関係機関と連携し、市街地における貴重なオープンスペースである河川空間の有効活用を図る。



## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### 実施

#### ○西大阪ブロック

##### ◆大川

○ 大川沿いの景観や八軒家浜の歴史、親水空間を活かした水辺空間を創出する。



北新地ガーデンブリッジ  
橋上空間のにぎわい利用  
＜イメージ図＞

##### ◆堂島川、土佐堀川

○ 水辺の回遊性、利便性をさらに高めるために遊歩道整備を実施する。

○ 護岸の緑化などにより河川景観の向上に努める。

##### ◆安治川

○ 中之島GATEエリアを、親水性・景観性に配慮した水辺拠点に整備する。



中之島GATE  
中之島西端の剣先シンボル化  
水辺空間のにぎわい創生  
＜イメージ図＞

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### 実施

#### ○西大阪ブロック

##### ◆木津川、尻無川

- 中之島と京セラドーム大阪周辺までを結ぶ動線として、親水・景観に配慮した遊歩道を整備する。

##### ◆住吉川

- 河川両岸の管理用道路を環境整備し、遊歩道として活用する。

##### ◆道頓堀川

- 湊町から日吉橋までは、耐震整備に併せて、親水性に配慮した拠点整備や遊歩道等を整備する。

##### ◆東横堀川

- 船着場整備等の水辺の拠点整備を核とした、河岸の環境整備を実施し、沿川地域の回遊性・利便性を高める。
- 整備効果の高い箇所から、先行的に整備していく。



**本町橋BASE**

まちなかを楽しむ小型船基地

<イメージ図>

## 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）

### 実 施

#### ○西大阪ブロック

##### ◆正蓮寺川

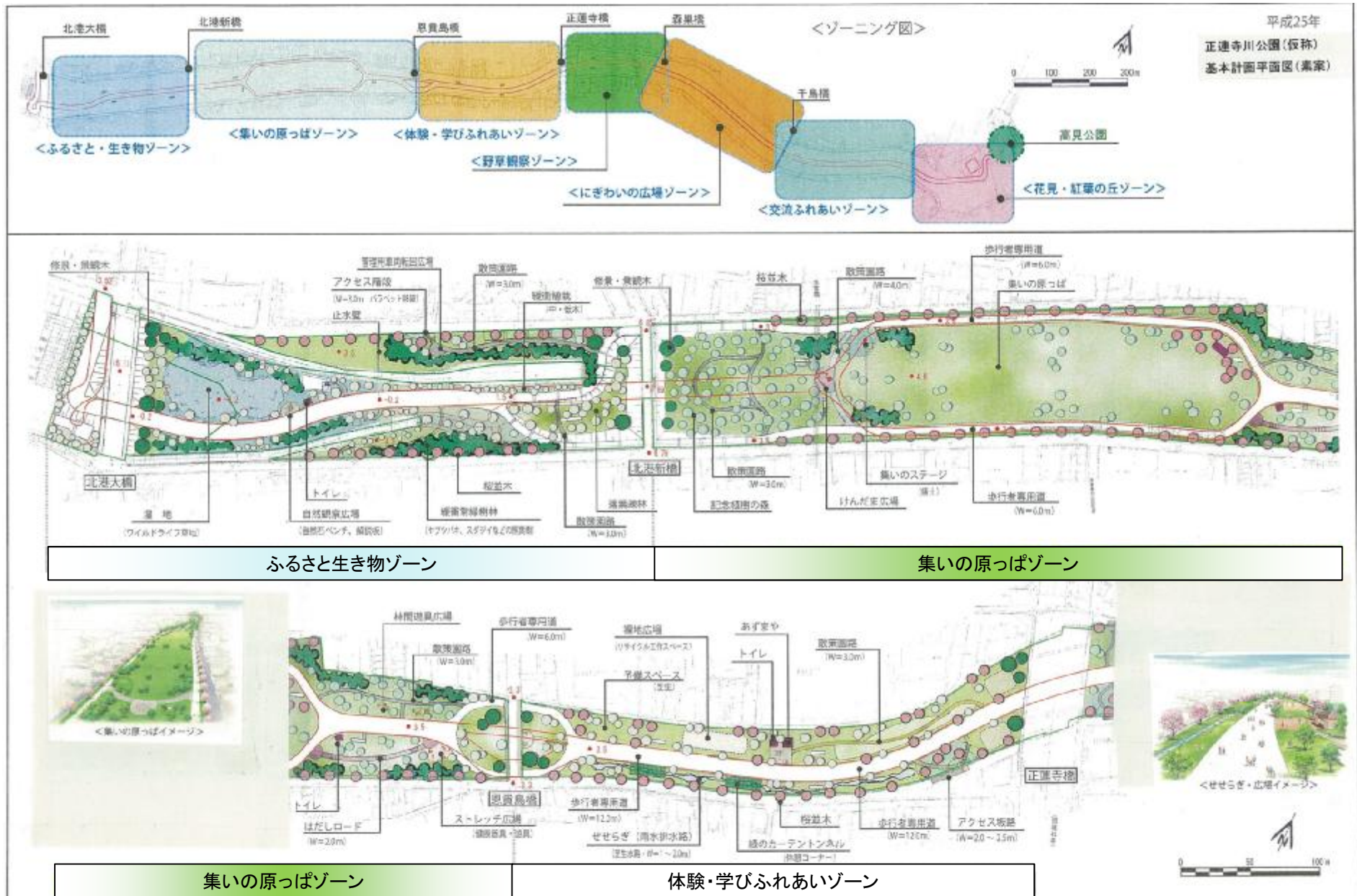
- 公園基本計画平面図（素案）に対して、ワークショップ等を行った。
- 正蓮寺川水門から嬉ヶ崎橋上流までの陸地化される区間は、ゾーニングを行い、景観・レクリエーション・防災に対応した公園整備を行う。
- 公園全域にわたり、合計幅約12mの歩行者専用道路を設置する。
- 川幅が広い部分では、グランド整備を検討する。

---

#### ○神崎川下流ブロック

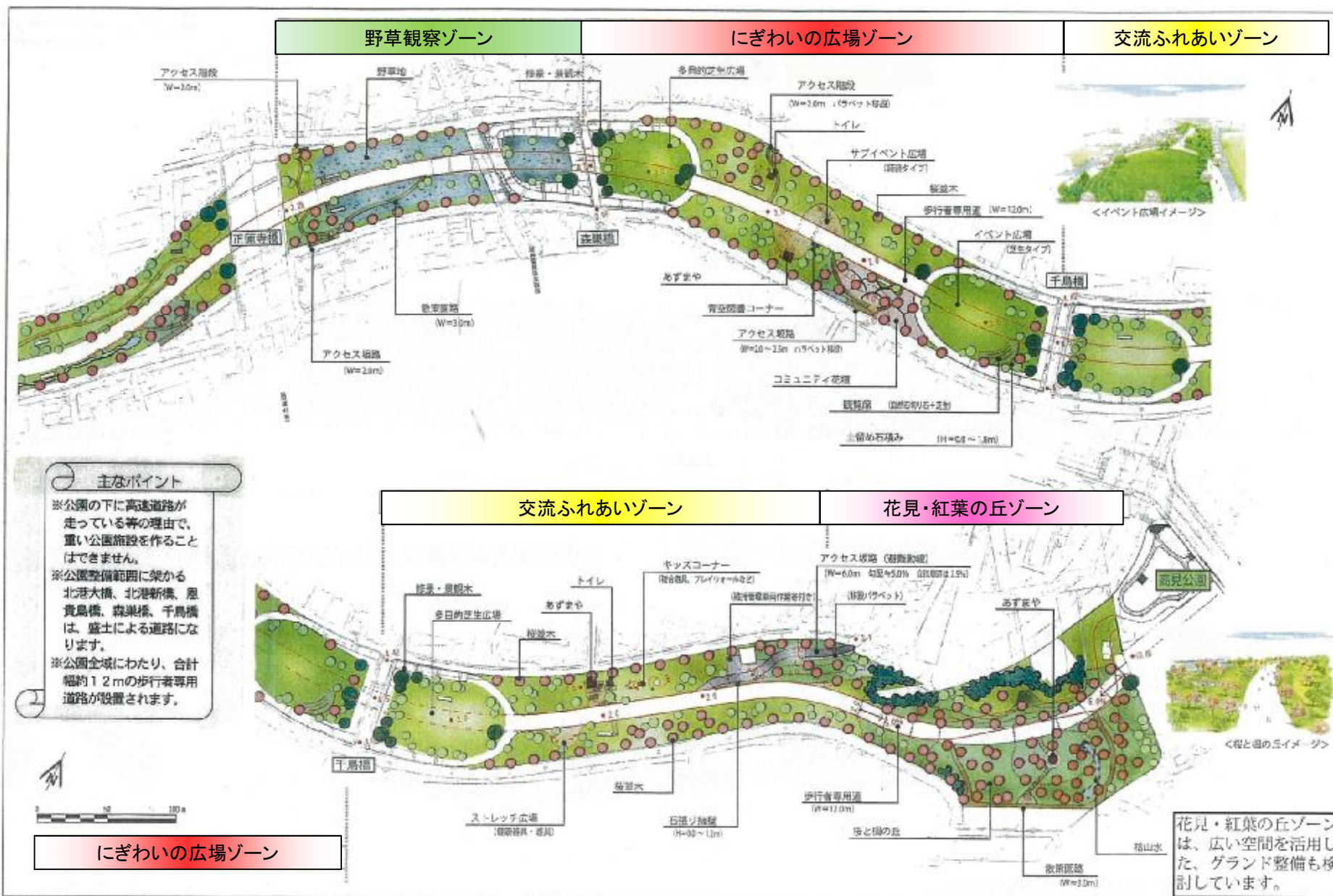
- 関係機関と連携し、防災船着場や「なにわ自転車道」、「西島川自転車歩行者道」等のレクリエーション施設の限られた河川空間の利用と保全を図る。
- 地域や市民団体、関係機関と連携し、アドプトリバーの推進、清掃活動により良好な生活空間の維持改善を図る。

# 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）



正蓮寺川公園基本計画平面図（素案）

# 4.環境面・景観面から見た課題・目標・実施（空間利用）



## 5.維持管理

### ○高潮・耐震・津波・洪水対策事業の沿革

#### 【高潮対策】

- Ⅰ シェーン台風（昭和25年）を契機に抜本的な総合高潮対策を実施。
- Ⅰ 昭和36年9月の第二室戸台風による甚大な被害により、高潮対策緊急三ヵ年計画が策定され、堤防の嵩上げを優先して工事を実施。
- Ⅰ 「大阪高潮対策恒久計画」を策定し、防潮堤、防潮水門、排水施設などを整備。昭和56年に毛馬排水機場が完成し、全区間で高潮に対する防潮施設整備は完了。
- Ⅰ 鉄扉の電動化や、遠隔監視化を実施。

#### 【津波・耐震対策】

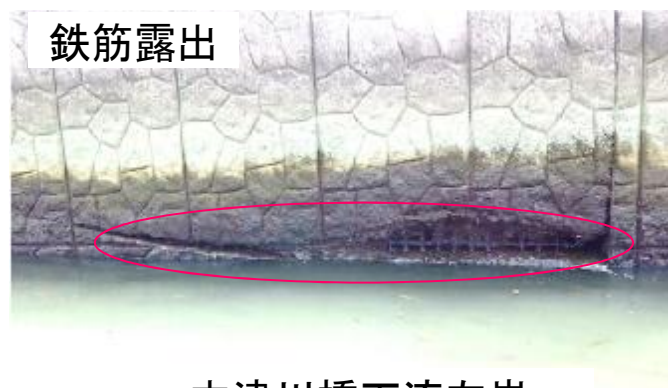
- Ⅰ 昭和52年より耐震対策事業に着手し、阪神・淡路大震災を契機に耐震性を再評価したうえで耐震補強を実施。
- Ⅰ 河川改良工事全体計画（平成8年11月）に基づき、防潮堤の耐震補強を実施。
- Ⅰ 平成25年度より南海トラフ巨大地震・津波対策事業に着手。

#### 【洪水対策】

- Ⅰ 昭和59年から神崎川の洪水対策として、河床掘削を実施し、河川改良工事全体計画(平成9年11月,1/40確率)策定後は、計画に基づき河床掘削を実施。

### ○構造物点検結果

#### ・護岸ブロックの損傷・開きなど



鉄筋露出

木津川橋下流左岸



護岸破損

大渉橋下流左岸

調査年度：平成25年1月

## 5.維持管理

### 課 題

- 防潮堤や護岸などの施設の老朽化が進んでいる。
- 災害発生の防止や河川環境の整備など保全の観点から、河川の有する多面的機能を十分に発揮させる必要がある。

### 目 標

- 河川の特長や施設の劣化状況を踏まえつつ、計画的な維持管理を行い、災害の発生を未然に防ぐ。

### 実 施

- 老朽化した堤防および護岸については、施設の損傷状況に合わせ、危険度の高いところから計画的に補修を実施する。実施にあたっては、点検結果やこれまで蓄積したデータをもとに、箇所毎に原因分析を行い、長寿命化に向けた対策に繋げていく。また、水門等の施設については、長寿命化計画に基づき適切な維持管理を実施していく。
- 大阪府管理の水門については、出水期に月2回、非出水期に月1回の定期点検を実施している。他の施設についても定期的に点検を実施している。
- 樋門・防潮鉄扉等については、訓練を通じて操作の習熟につとめる。